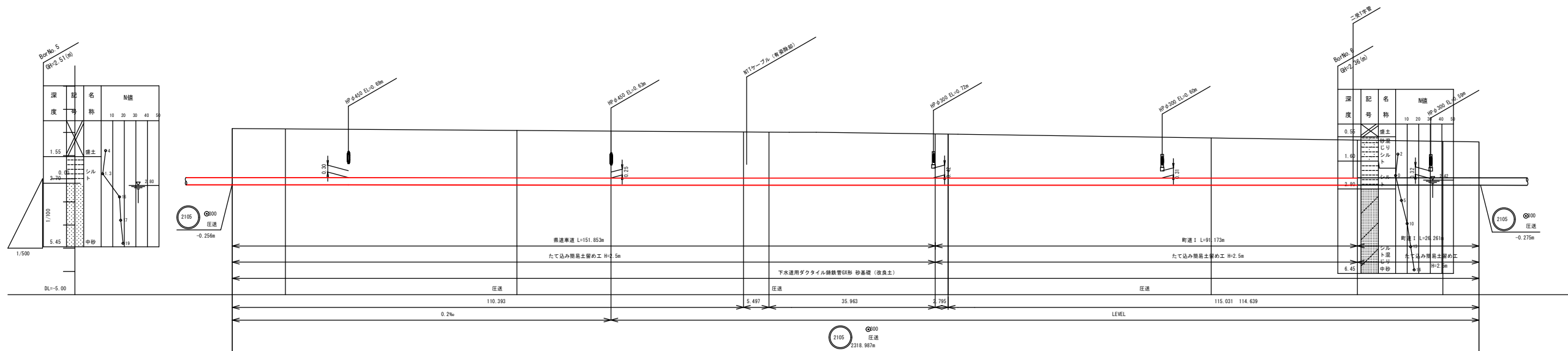


縦断面図7/9

V=1 : 100
H=1 : 500



系 列	準 据 値	追加距離	寄 附 費	備 考 欄	計 算 式	延 期 費
No. 20-5 No. 20-5.1 No. 20						
	32,844	1468,530	-0.256		2.54	2.17
	11,470	1500,000	-0.256		2.53	2.16
No. 20+5.19 No. 20+5.19	13,586	1513,586	-0.256		2.51	2.14
	36,414	1550,000	-0.266		2.47	2.09
No. 31-05.31 No. 31-05.07	20,310	1570,310	-0.272		2.45	2.06
	9,750	1580,070	-0.272		2.44	2.05
No. 31+45.41 No. 32	19,563 1,077	1600,563 1600,000	-0.272 -0.272		2.41 2.41	2.02 2.02
	4,420	1604,420	-0.272		2.41	2.02
No. 32+5.14 No. 32+5.74	35,863 2,786	1640,383 1640,178	-0.272 -0.272		2.34 2.31	1.96 1.92
	1,120	1660,000	-0.272		2.30	1.91
No. 33-53+4.0 No. 33-53+4.0	38,396	1680,396	-0.272		2.18	1.79
	10,604	1700,000	-0.272		2.15	1.76
No. 34+5.62 No. 34+5.14	30,621 0,935	1720,621 1721,556	-0.272 -0.272		2.02 2.12	1.63 1.67
	9,920	1741,476	-0.272		2.10	1.66
No. 34+7.40 No. 35	5,620 2,604	1747,396 1750,000	-0.274 -0.274		2.01 2.00	1.63 1.62
	5,530 2,287	1755,530 1757,817	-0.275 -0.275		2.04 2.04	1.65 1.59

实施位置图



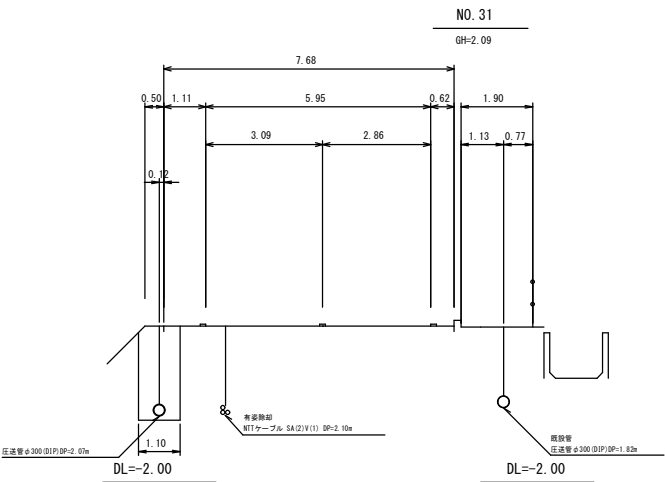
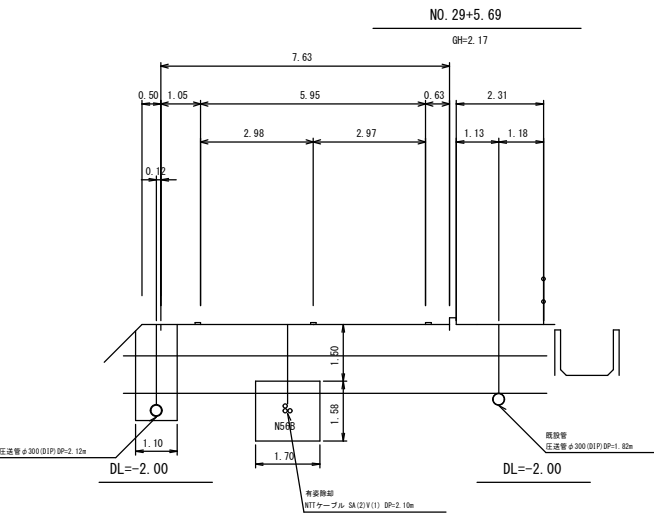
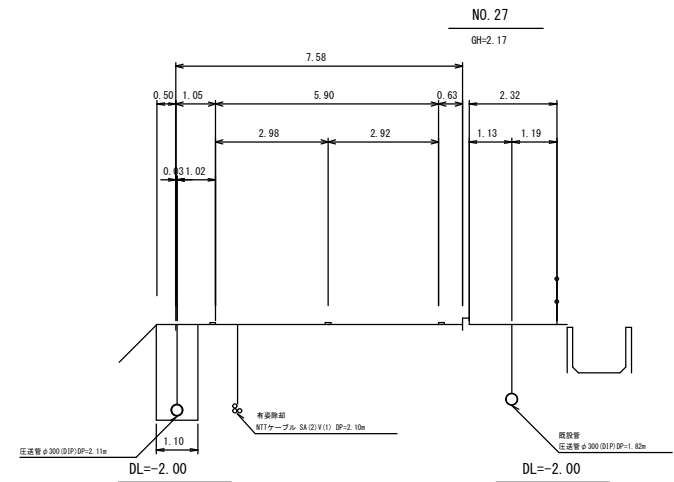
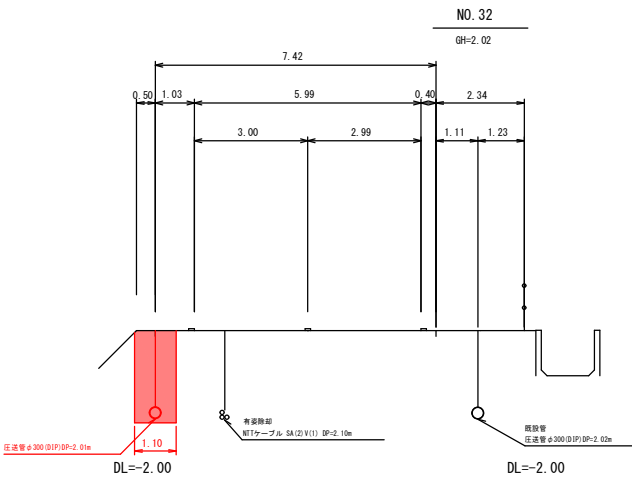
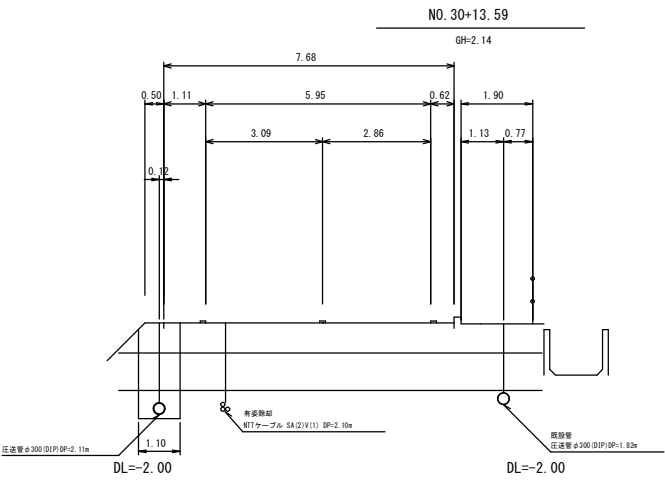
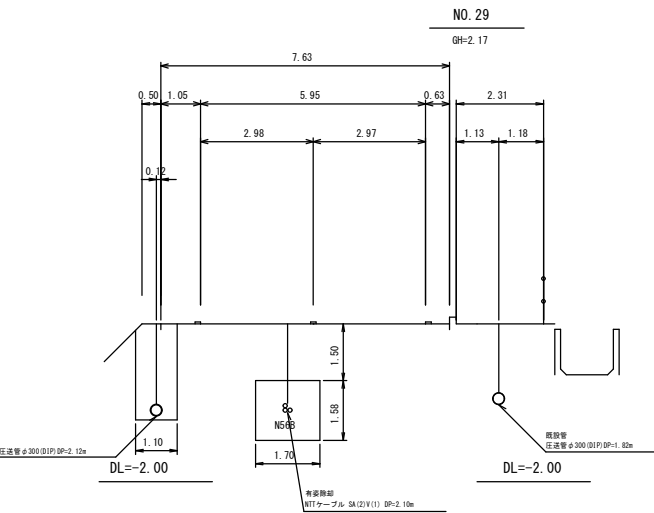
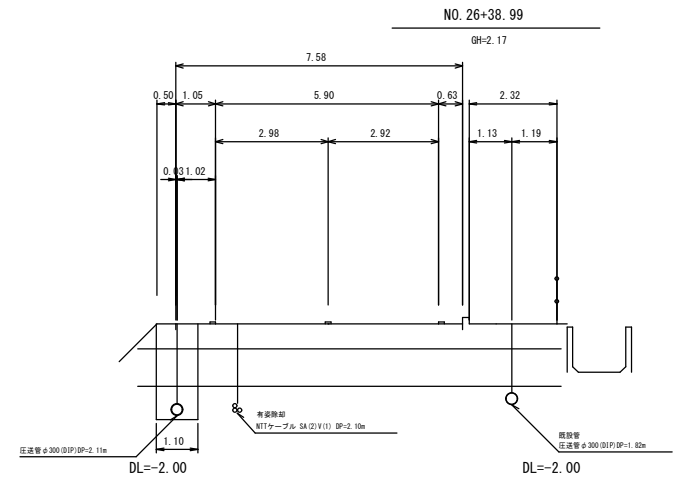
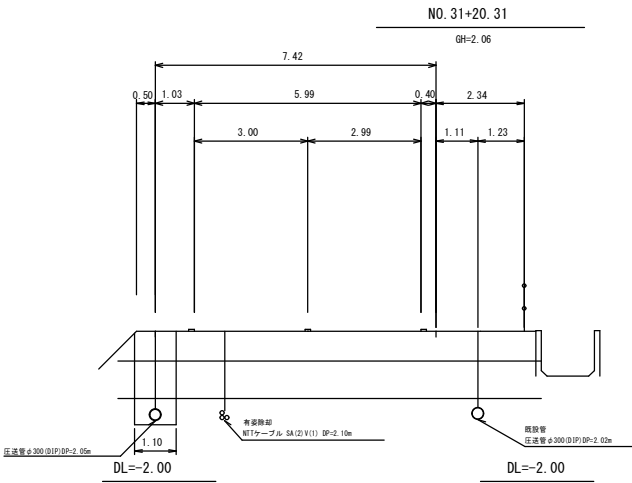
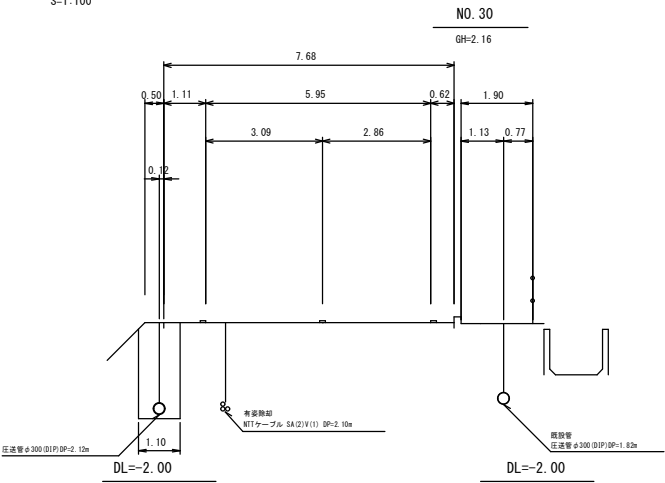
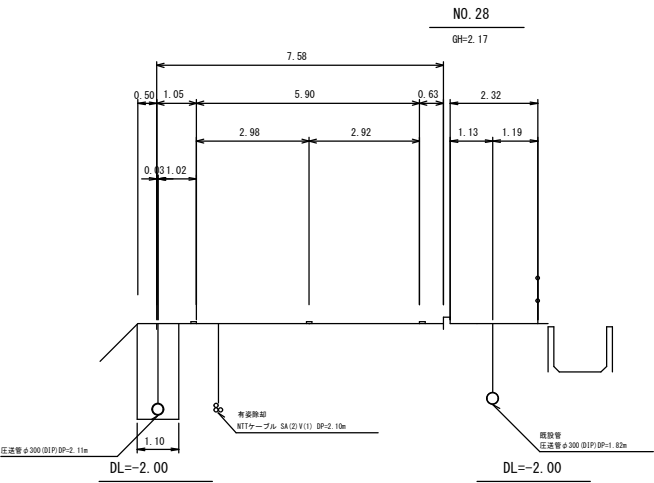
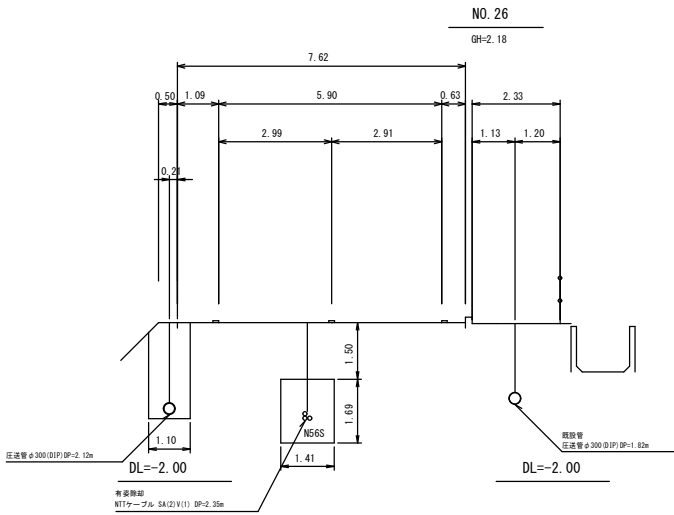
路 線 番 号

2105

工 事 名	令和 7 年度 互理第2号汚水幹線耐震化工事 (路線名)		
箇 所	互理町逢原釜屋字狭間 地内外		
図 名	平面図、縦断面図 2105 7/9		
縮 尺	図 示	位 置	
設 計 者	課 長		
宮城県互理町		図面番号	

横断面図 5/8

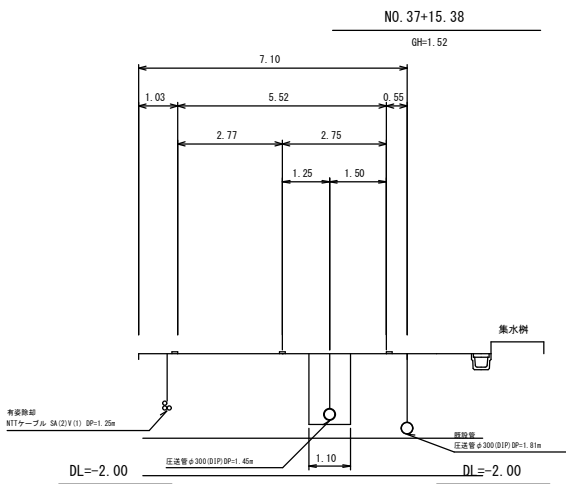
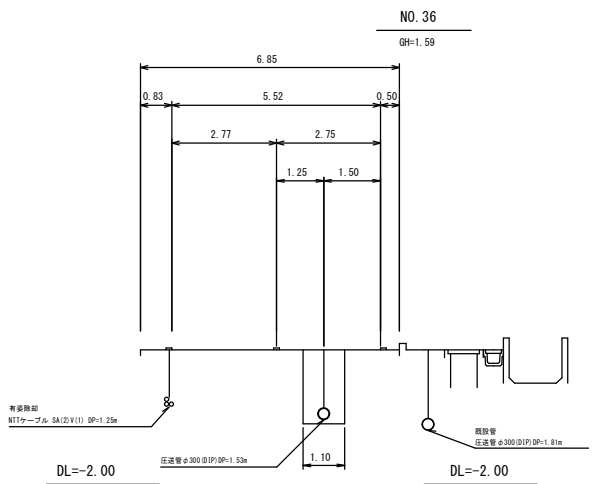
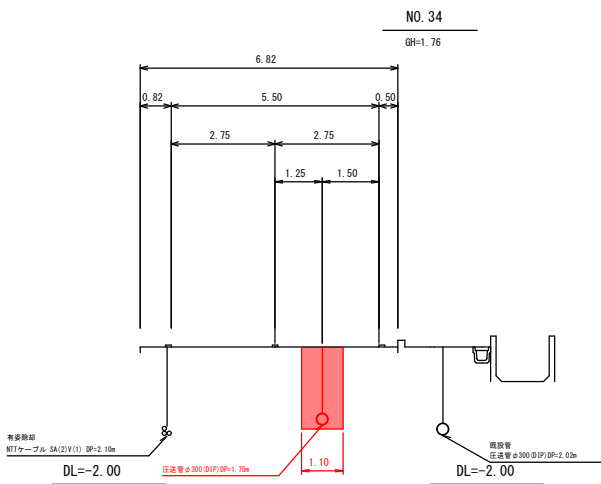
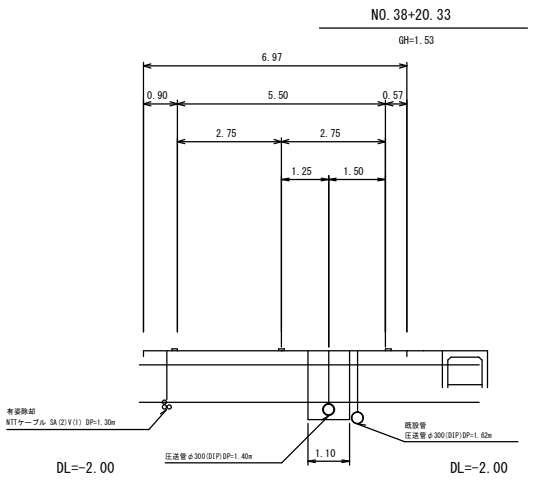
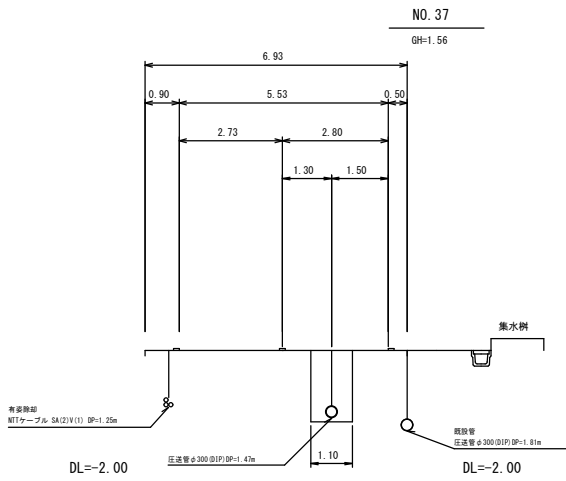
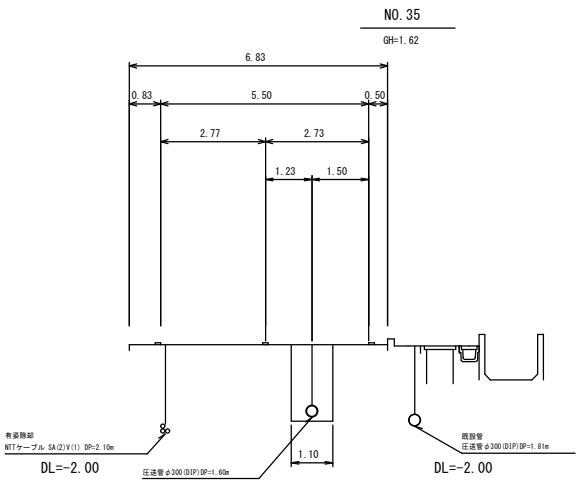
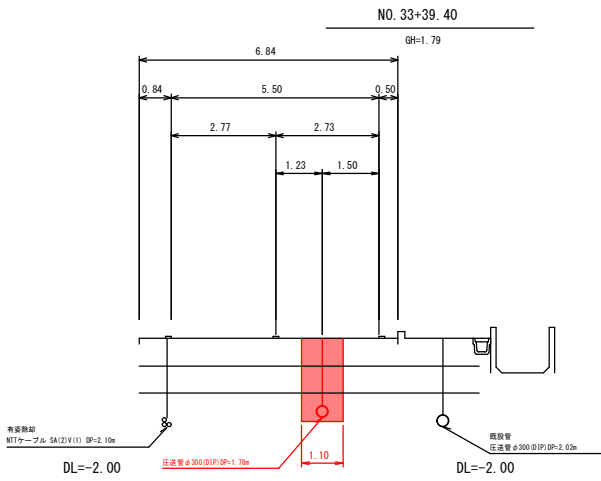
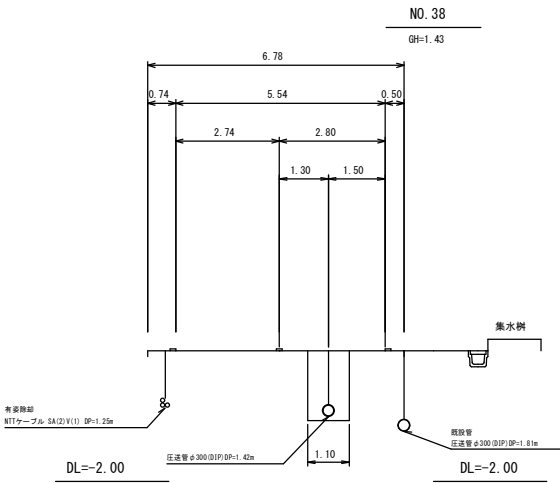
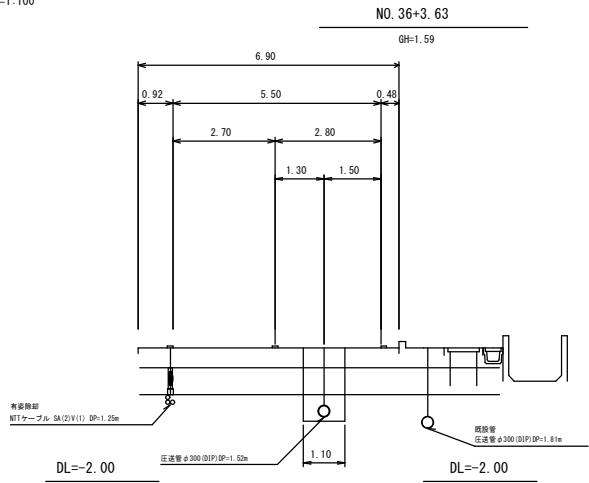
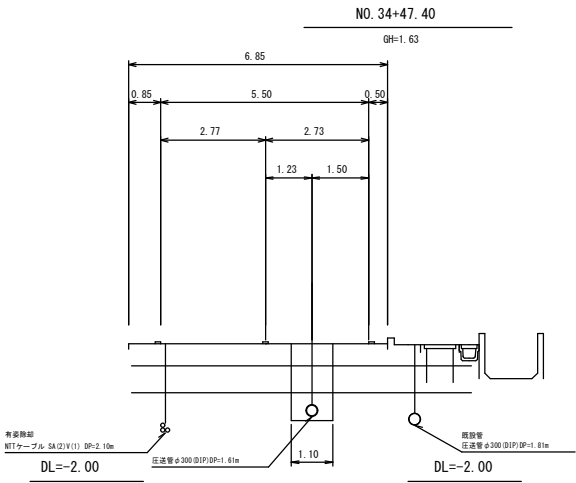
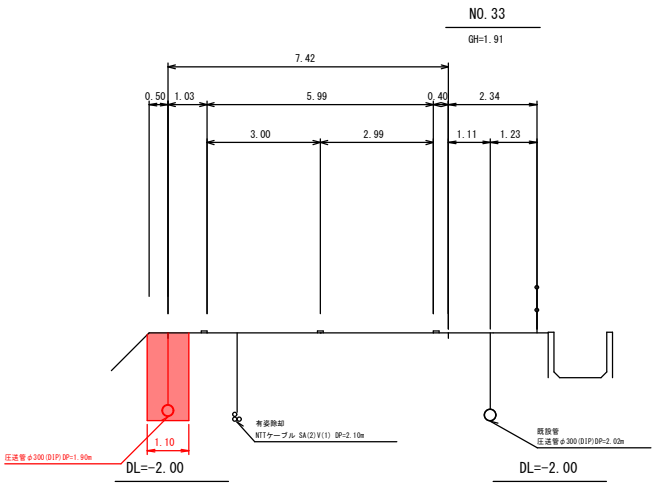
S=1:100



実施

路線番号
2105

工事名 (路線名)	令和7年度 互理第2-1号汚水幹線耐震化工事		
箇所	互理町逢隈蟹屋字狭間 地内外		
図名	横断面図 5/8		
縮尺	S=1:100	位置	
設計者		課長	
宮城県互理町		図面番号	



実施

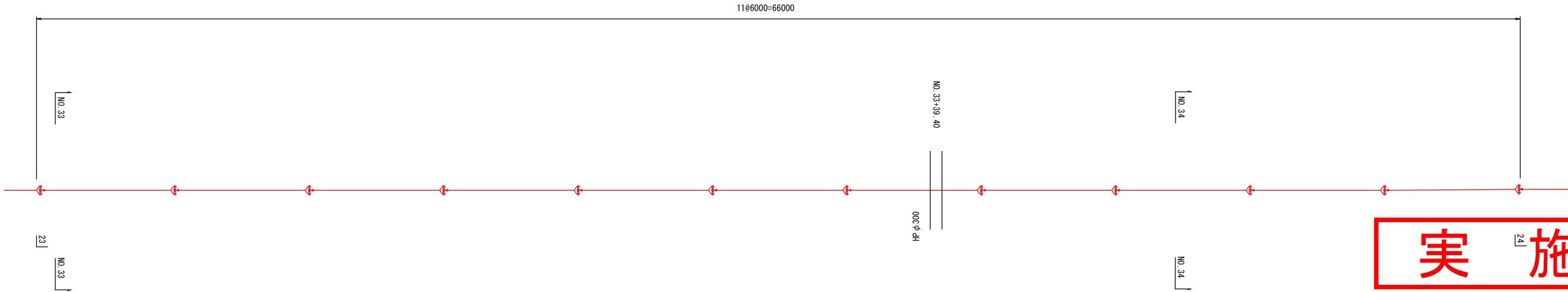
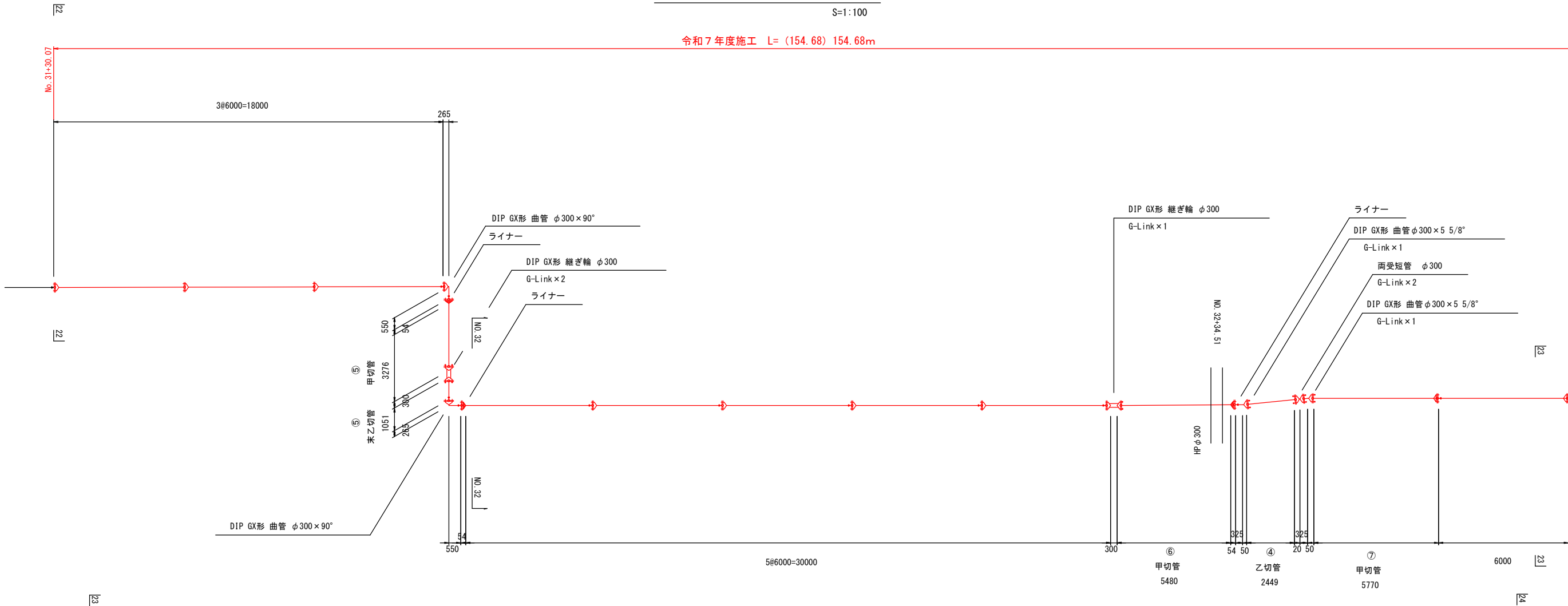
路線番号
2105

工事名 (路線名)	令和7年度 互理第2-1号汚水幹線耐震化工事		
箇所	互理町逢隈笠屋字狭間 地内外		
図名	横断面図 6/8		
縮尺	S=1:100	位置	
設計者		課長	
宮城県互理町		図面番号	

圧送管管割図 12/16

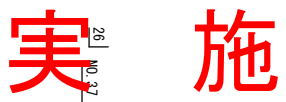
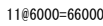
S=1:100

令和7年度施工 L= (154.68) 154.68m



実施

工事名 (路線名)	令和7年度 互理第2-1号污水幹線耐震化工事		
箇所	互理町逢隈鷺屋字狭間 地内外		
図名	圧送管管割図 12/16		
縮尺	S=1:100	位置	
設計者		課長	
宮城県互理町		図面番号	

$$9 \times 6000 = 54000$$


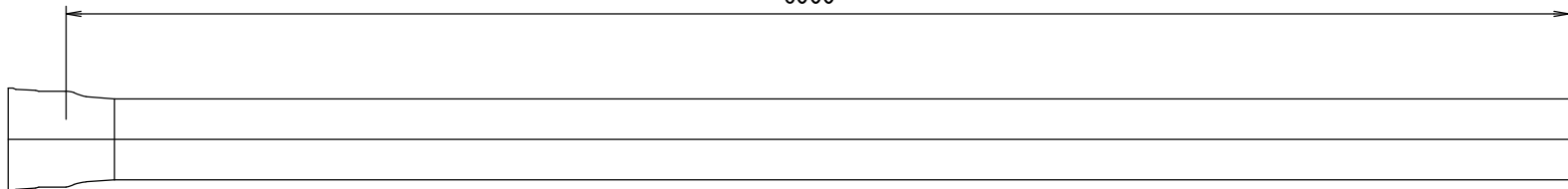
工 事 名	令和7年度 互理第2-1号污水幹線耐震化工事 (路線名)		
箇 所	互理町逢隈鷺屋字狭間 地内外		
図 名	圧送管分割図 13/16		
縮 尺	S=1:100	位 置	
設 計 者		課 長	
宮城県互理町		図面番号	

下水道用ダクタイトイル鑄鉄管 G X 形標準図

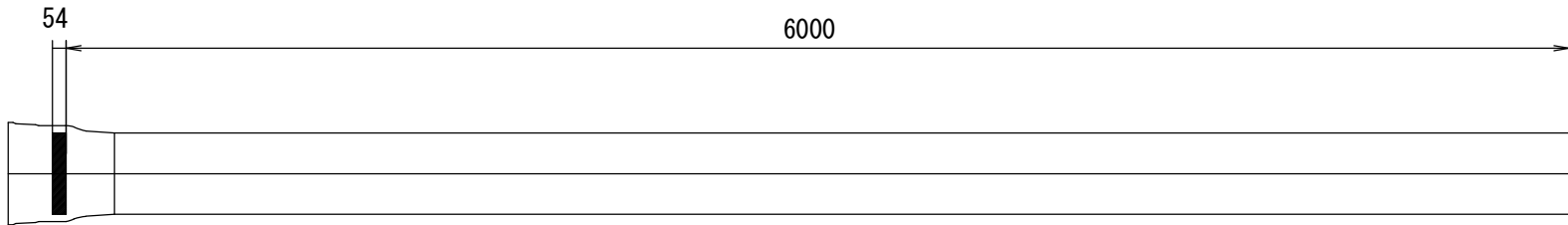
内面エポキシ塗装 S種管

S=1:15

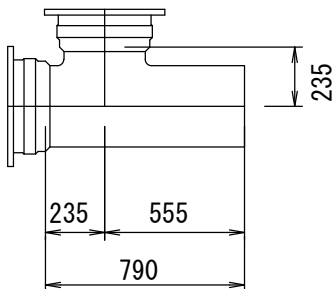
直管 $\phi 300 \times 6000$
6000



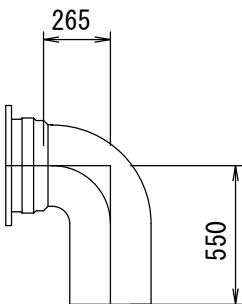
直管 $\phi 300 \times 6000$ (ライナ)
54 6000



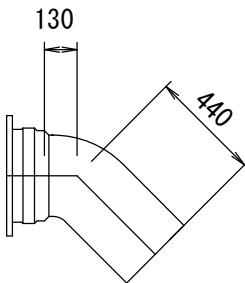
二受T字管 $\phi 300 \times \phi 300$



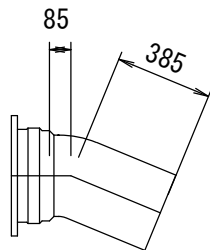
曲管 $\phi 300 \times 90^\circ$



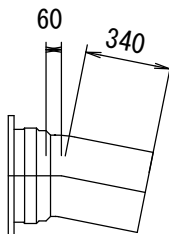
曲管 $\phi 300 \times 45^\circ$



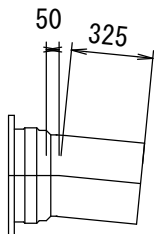
曲管 $\phi 300 \times 22 \frac{1}{2}^\circ$



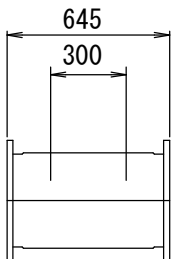
曲管 $\phi 300 \times 11 \frac{1}{4}^\circ$



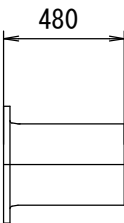
曲管 $\phi 300 \times 5 \frac{5}{8}^\circ$



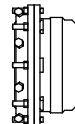
継ぎ輪 $\phi 300$



短管2号 $\phi 300$



G-Link $\phi 300$

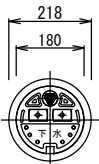


実 施

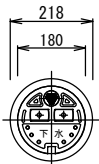
工 事 名 (路線名)	令和7年度 亶理第2-1号汚水幹線耐震化工事		
箇 所	亶理町逢隈鷺屋字狭間 地内外		
図 名	下水道用ダクタイトイル鑄鉄管 G X 形標準図		
縮 尺	S=1:15	位 置	
設 計 者		課 長	
宮城県亶理町		図面番号	

仕切弁詳細図

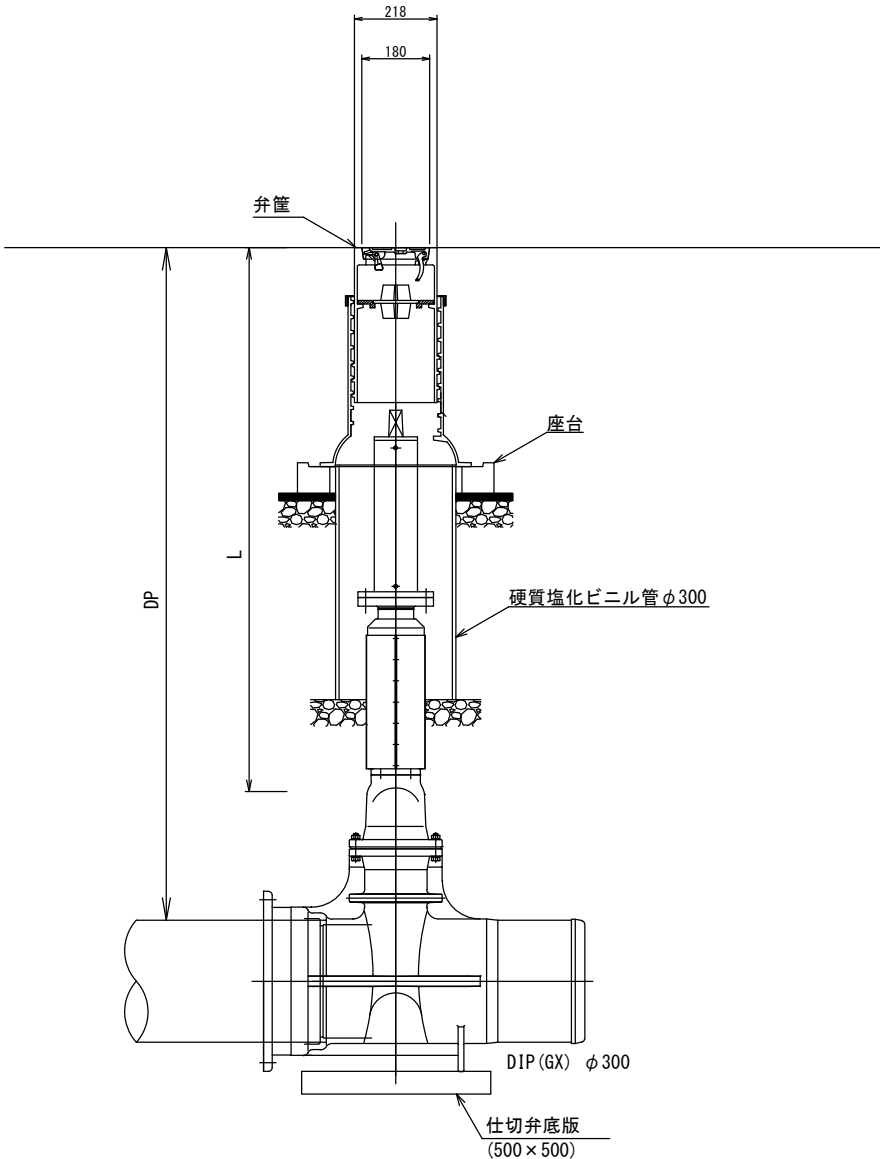
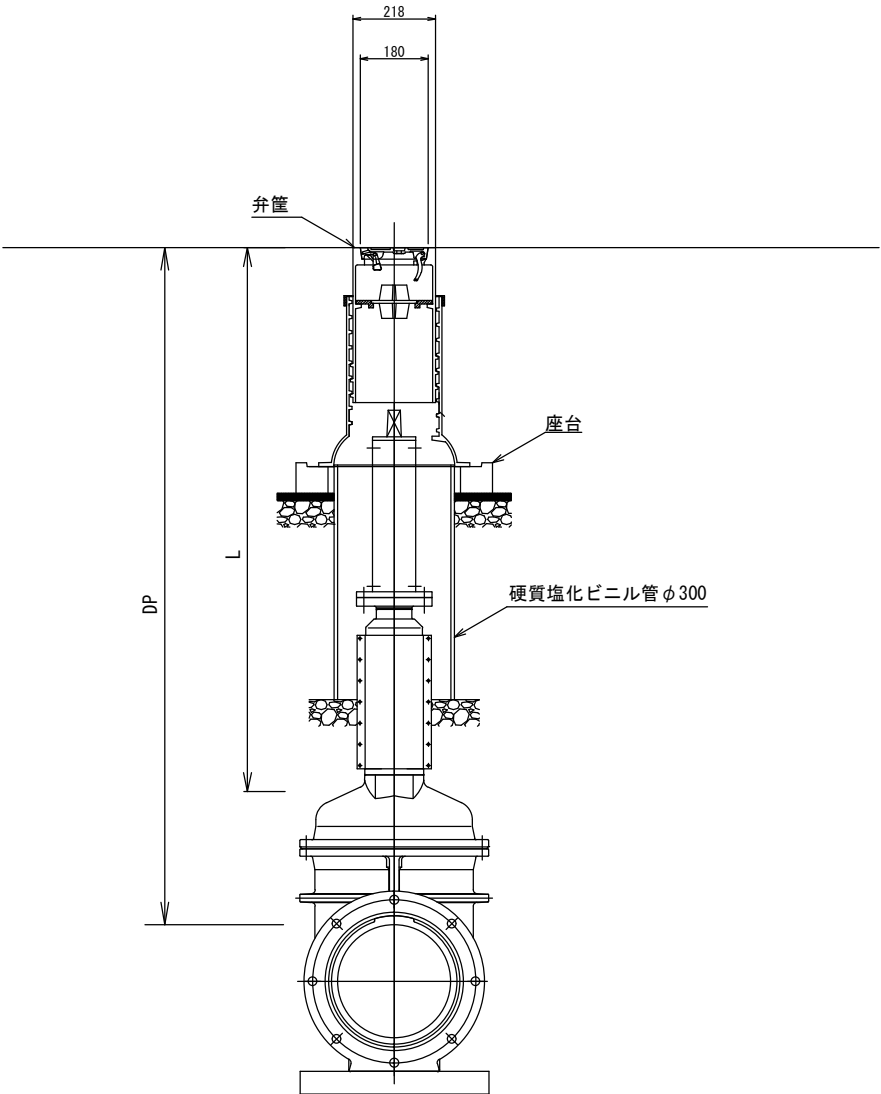
S=1:10



町章入り



町章入り

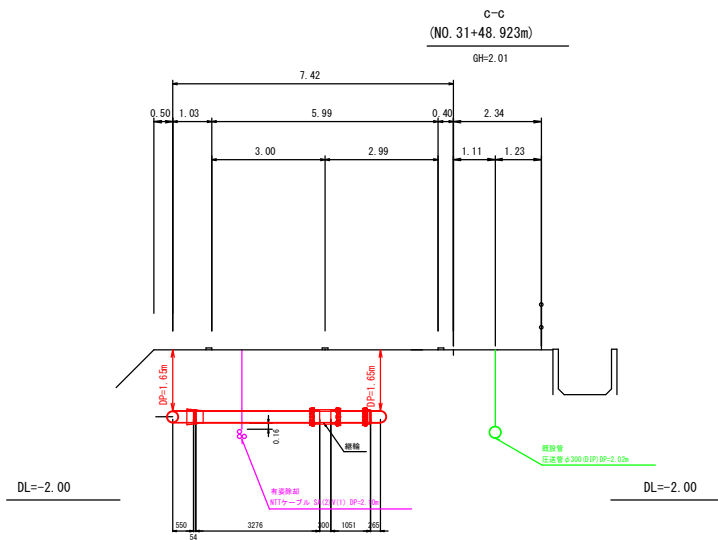
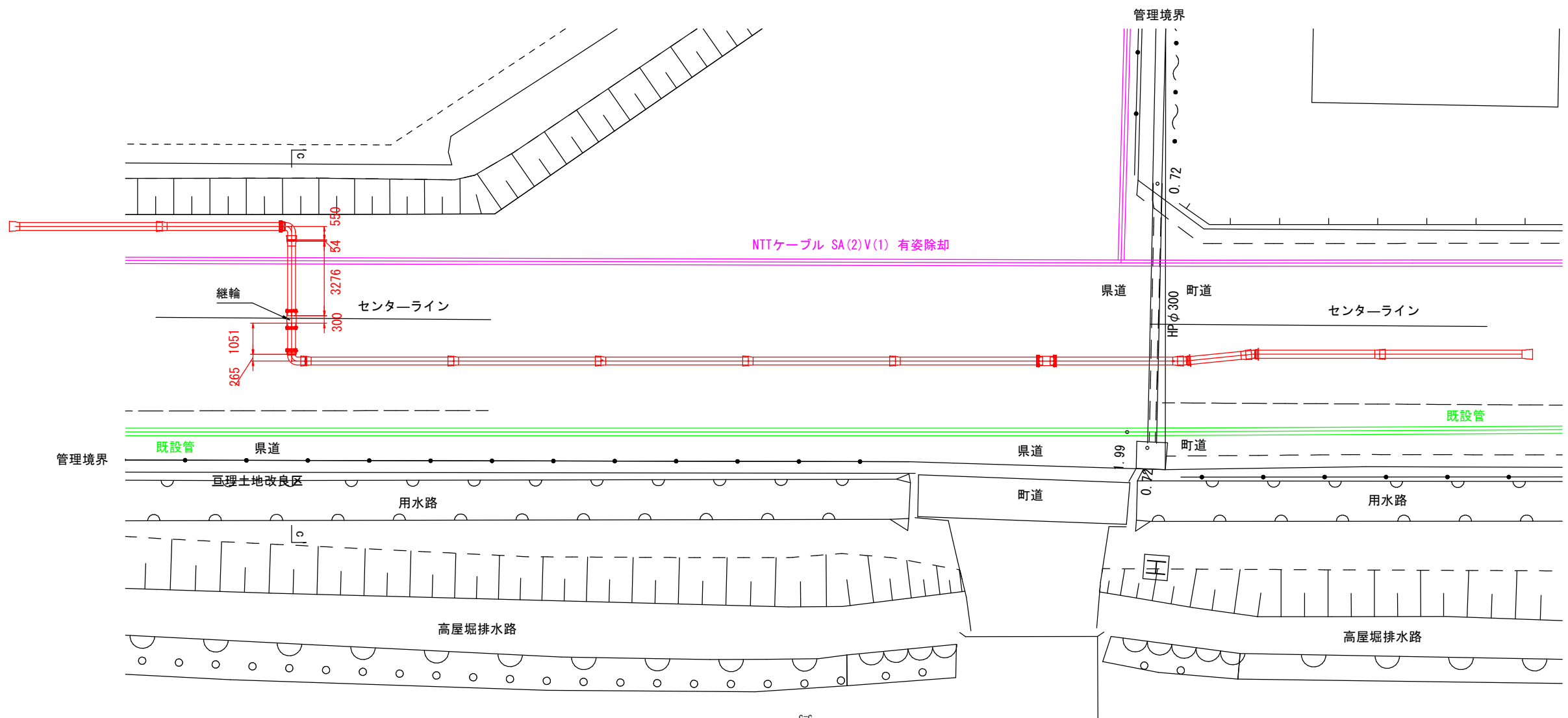


実施

工 事 名 (路線名)	令和7年度 互理第2-1号汚水幹線耐震化工事		
箇 所	互理町逢隈鷺屋字狭間 地内外		
図 名	仕切弁詳細図		
縮 尺	S=1:10	位 置	
設 計 者		課 長	
宮城県互理町		図面番号	

県道横断部詳細図

S=1:100

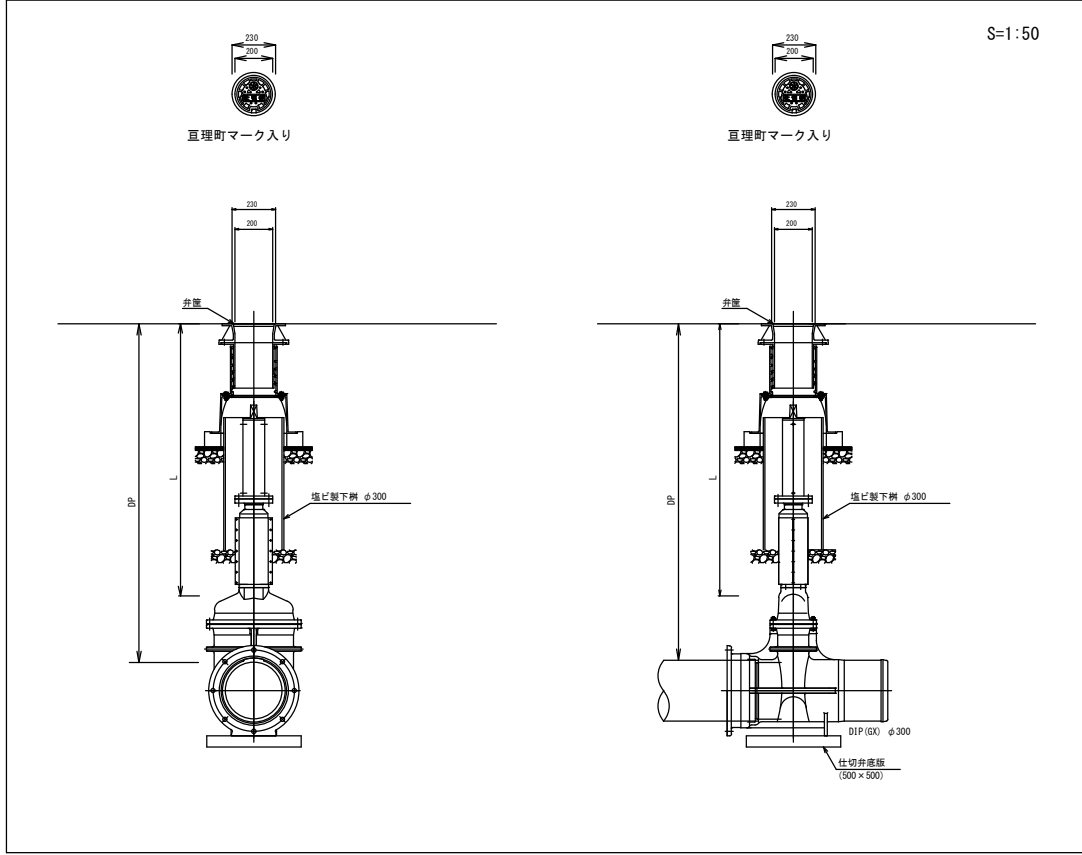


実施

工事名 (路線名)	令和7年度 亘理第2-1号汚水幹線耐震化工事		
箇所	亘理町逢隈鷺屋字狭間 地内外		
図名	県道横断部詳細図		
縮尺	図示	位置	
設計者		課長	
宮城県亘理町		図面番号	

(NO. 34+30.62m) S=1:100

S=1 : 100



工 事 名	令和7年度 亙理第2-1号汚水幹線附震化工事 (路線名)		
箇 所	亙理町逢隈豊屋字坊間 地内外		
図 名	連絡管詳細図(N0. 34-30. 62m)		
縮 尺	図 示	位 置	
設 計 者		課 長	
宮城県亙理町		図面番号	

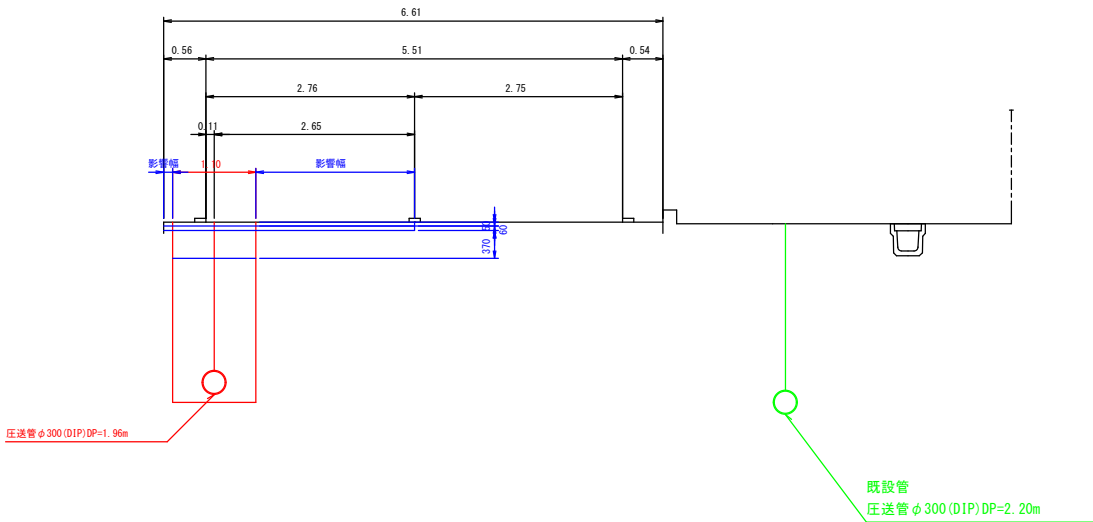
標準断面図

S=1:50

NO. 0+28.05

県道部

GH=2.82

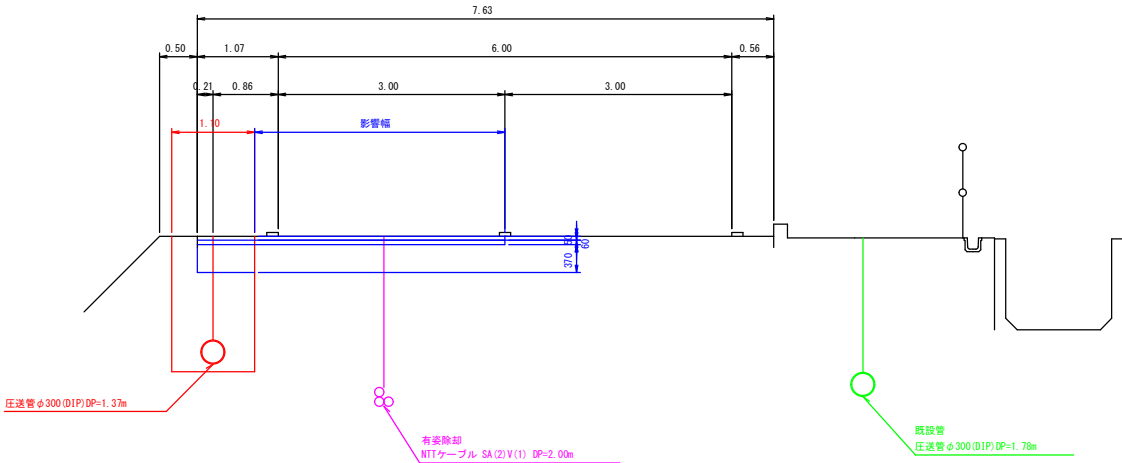


県道舗装構成表	
項目	厚さ (mm)
表層工 (再生密粒度As20F)	50
上層路盤工 (再生遊骨安定処理路盤材)	60
下層路盤工 (再生クラッシャーランRC-40)	370

NO. 6+13.87

県道部

GH=2.60

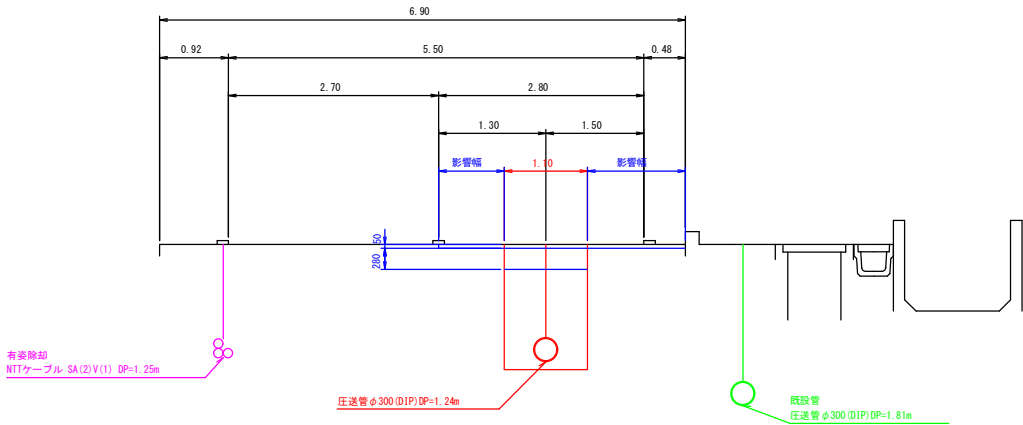


県道舗装構成表	
項目	厚さ (mm)
表層工 (再生密粒度As20F)	50
上層路盤工 (再生遊骨安定処理路盤材)	60
下層路盤工 (再生クラッシャーランRC-40)	370

NO. 36+18.93

町道部 I

GH=1.59



町道舗装構成表	
項目	厚さ (mm)
表層工 (再生密粒度As20F)	50
路盤工 (再生クラッシャーランRC-40)	280

実施

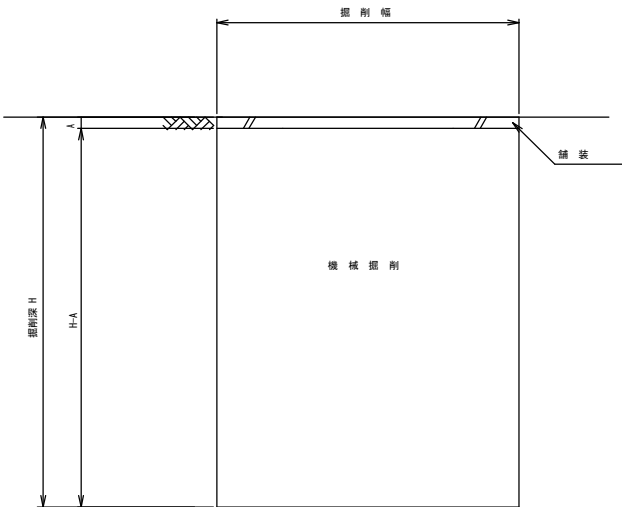
工事名 (路線名)	令和7年度 互理第2-1号污水幹線耐震化工事		
箇所	互理町逢隈蟹屋字狭間 地内外		
図名	標準断面図		
縮尺	S=1:50	位置	
設計者		課長	
宮城県互理町		図面番号	

本管土工標準図 ・ 埋設管標識テープ標準図

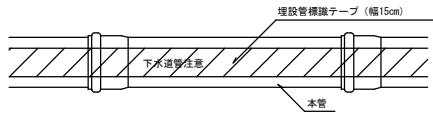
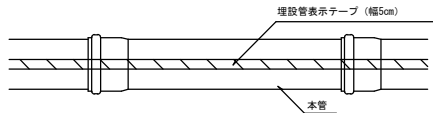
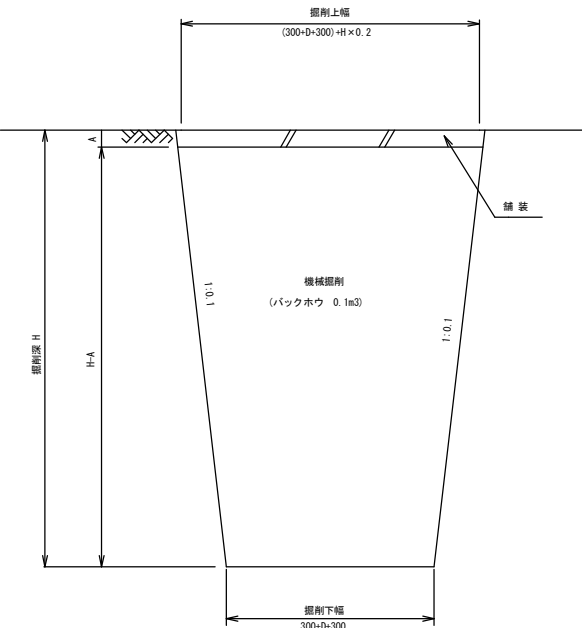
S=1:20

掘削工

H＝1.5m超え（土留工）



H＝1.5m以下（素掘り）



掘削幅寸法表 (mm)

管 種	管 径 (d)	掘 削 深			
		3.0m以下	3.5m以下	4.0m以下	6.0m以下
ダクタイル 鋳鉄管	φ300	1100	1100	1150	1400

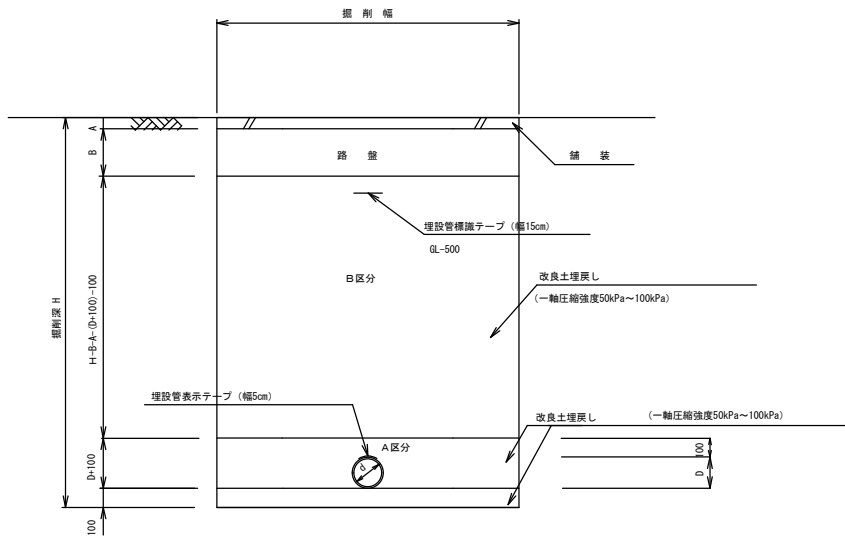
(建込簡易土留工)

本管寸法表(ダクタイル鋳鉄管) (mm)

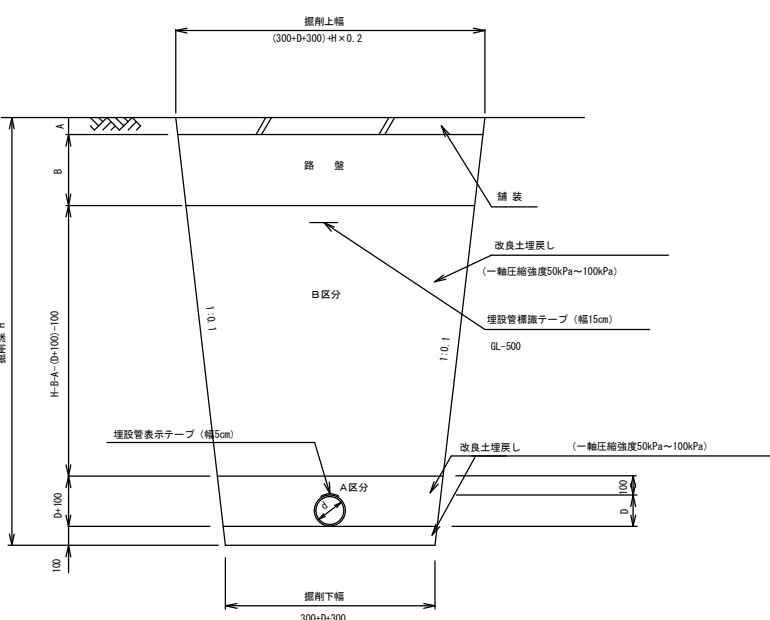
管呼び径(d)	管外径(D)	基礎厚
300	322.8	100

埋戻工

H＝1.5m超え（土留工）



H＝1.5m以下（素掘り）



液状化対策の例

埋戻し方法	① 埋戻し土の締固め	② 砕石等による埋戻し	③ 埋戻し土の固化
概要図			
埋戻し材料	良質な砂又は埋戻しに適した現地発生土	透水性の高い材料 (砕石等) で地下水位より上方まで埋戻す	現地発生土又は購入土に固化材を混ぜた改良土
特徴等	十分な締固めを行うことにより、埋戻し部の過剰間隙水圧を小さくすることができるため、液状化に対する効果は大きい	マンホール・管路近傍部の過剰間隙水圧が消散するため、液状化に対する効果は大きい	埋戻し部が非液状化層となるため、液状化に対する効果は大きい

本町では、施工性及び経済性より、③ 埋戻し土の固化を標準としているが、現場状況に応じて検討を行い、町の下水道担当部署と協議を行うことを原則とする。

実施

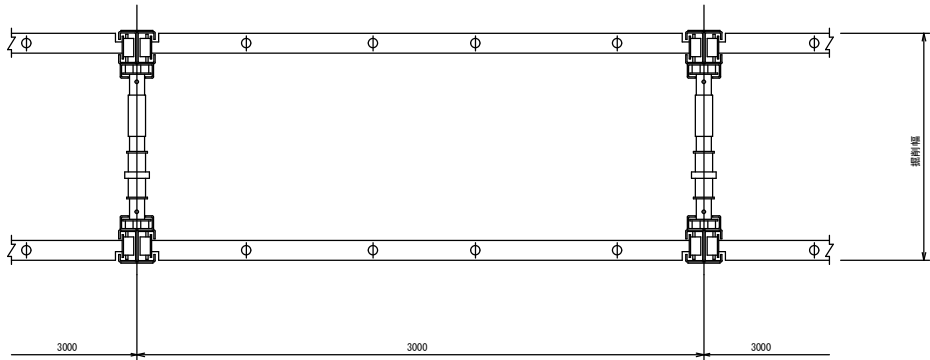
工 事 名 (路線名)	令和7年度 互理第2-1号汚水幹線耐震化工事		
箇 所	互理町逢隈鷺屋字狭間 地内外		
図 名	本管土工標準図 ・ 埋設管標識テープ標準図		
縮 尺	S=1:20	位 置	
設 計 者		課 長	
宮城県互理町		図面番号	

土留工標準構造図

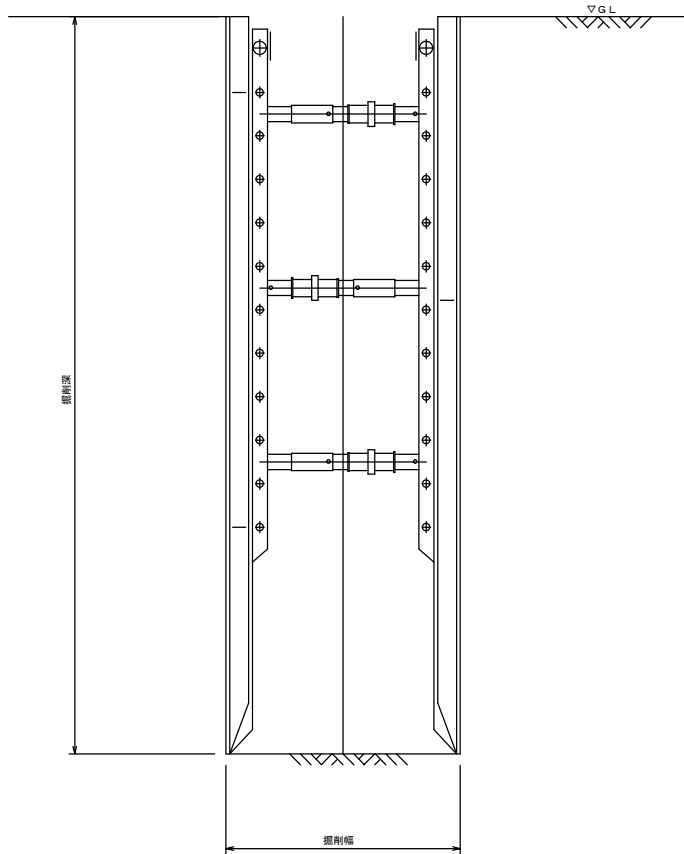
S=1:20

建込み簡易土留工

平面図



断面図



掘削幅寸法表 (mm)

管 種	管 径 (φ)	掘 削 深			
		3.0m以下	3.5m以下	4.0m以下	6.0m以下
S'パイプ 鋼鉄管	φ300	1100	1100	1150	1400

プレート厚寸法表 (mm)

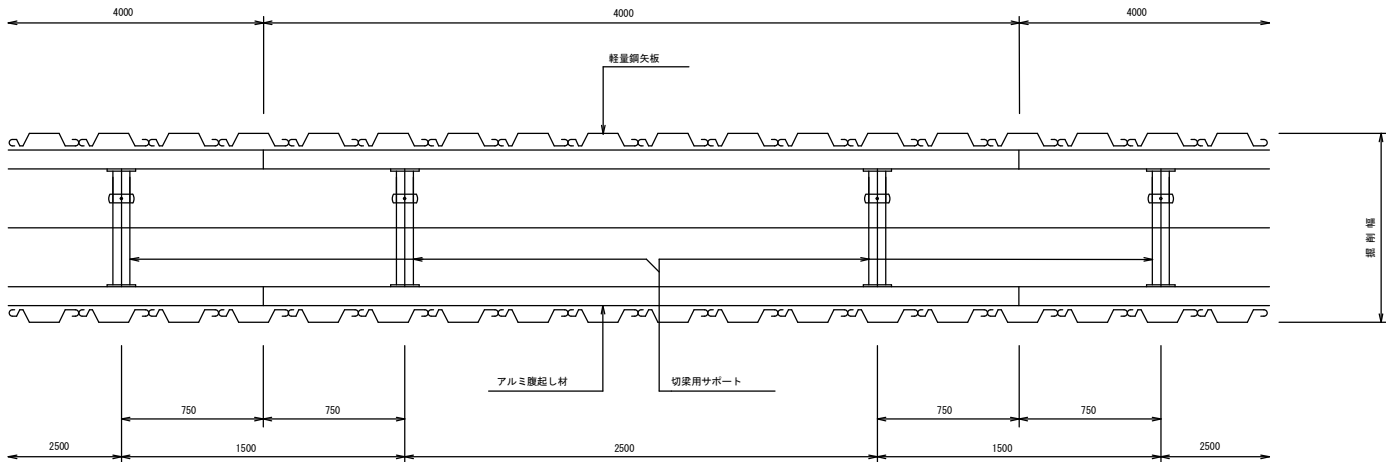
掘 削 深	3.5m以下	3.5mを超え 6.0m以下
プレート厚 (mm)	65	105

特記事項

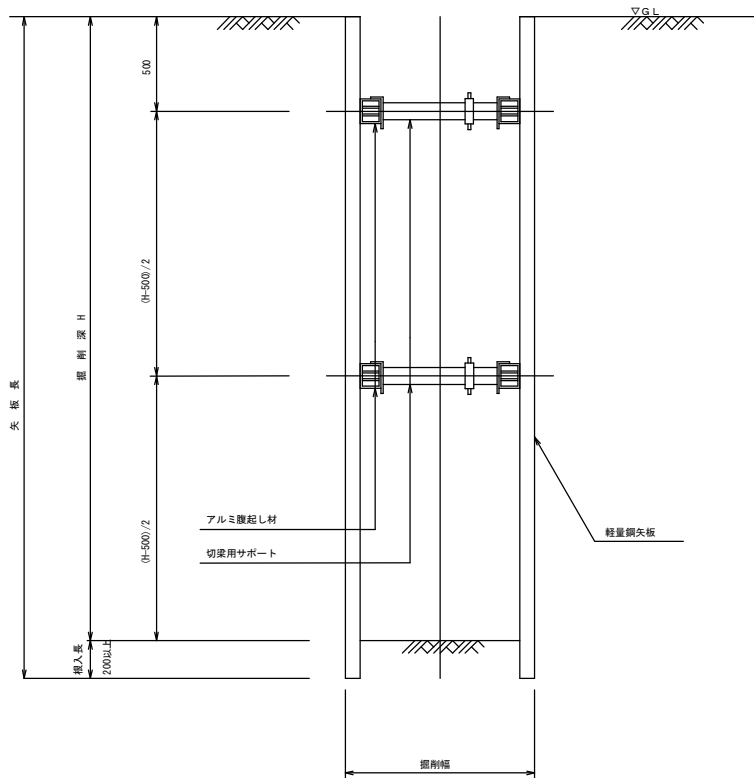
- 切梁設置位置は工事箇所により計算の上決定すること。

軽量鋼矢板土留工

平面図



断面図



注) 支保材は掘削深が2.00m以下は1段、2.00mを超える場合は2段とする。

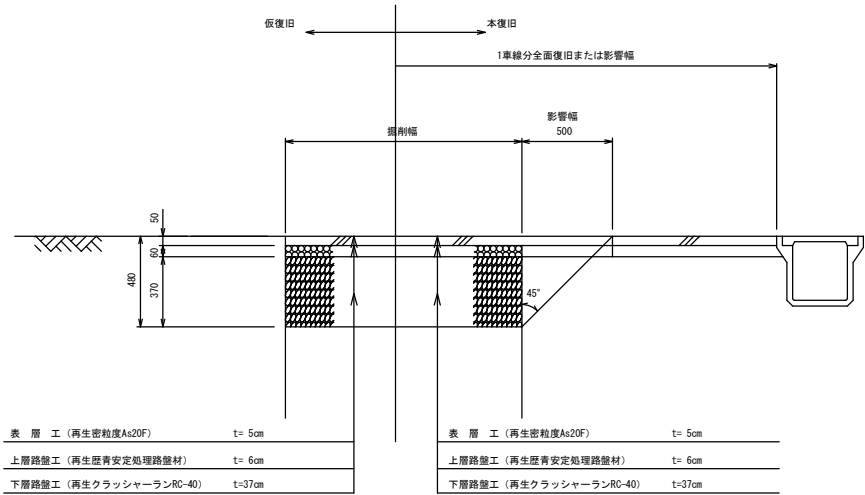
実 施

工 事 名 (路線名)	令和7年度 亶理第2-1号汚水幹線耐震化工事		
箇 所	亶理町逢隈鷺屋字狭間 地内外		
図 名	土留工標準図		
縮 尺	S=1:20	位 置	
設 計 者		課 長	
宮城県亶理町		図面番号	

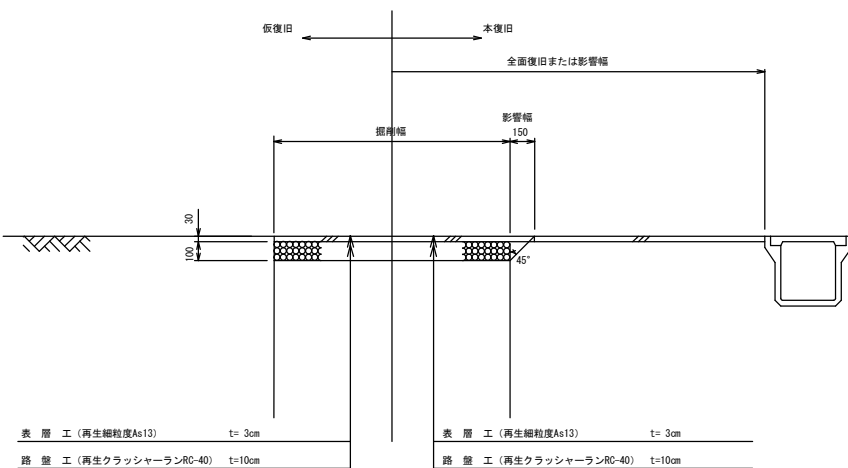
舗装復旧標準図

S=1:20

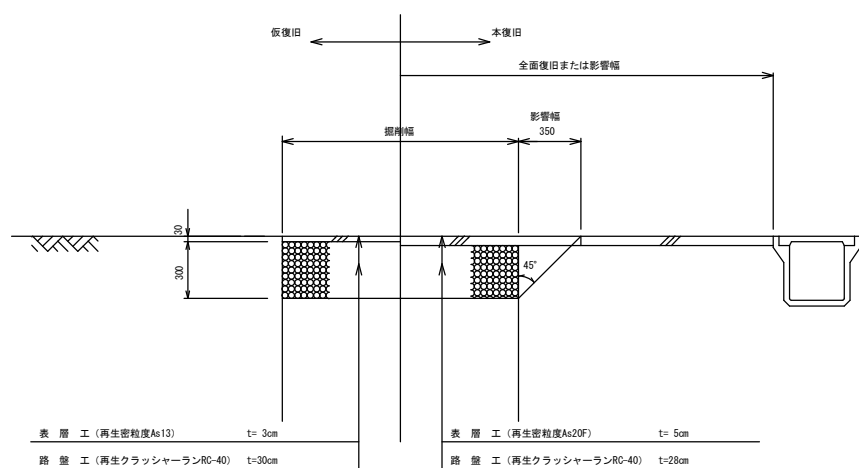
県道（車道部）



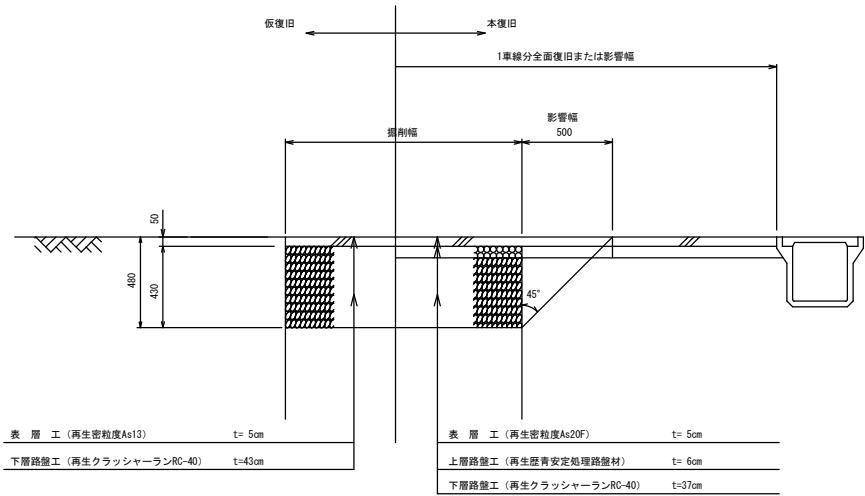
県道（歩道部）



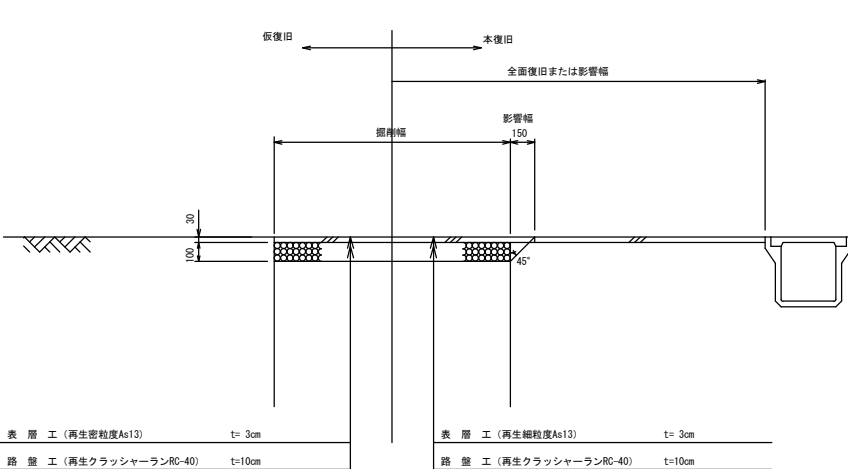
町道Ⅰ（車道部）



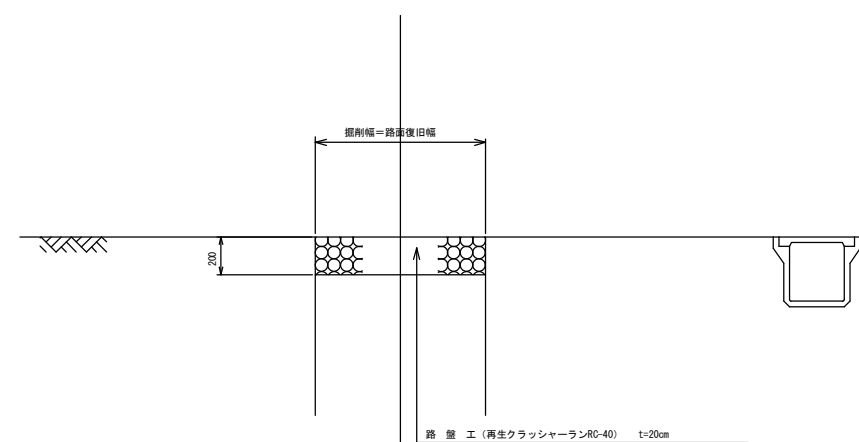
町道Ⅱ（車道部）



町道（歩道部）



町道（砂利道）



実施

工事名 (路線名)	令和7年度 互理第2-1号汚水幹線耐震化工事		
箇所	互理町逢隈蟹屋字狭間 地内外		
図名	舗装復旧標準図		
縮尺	S=1:20	位置	
設計者		課長	
宮城県互理町		図面番号	